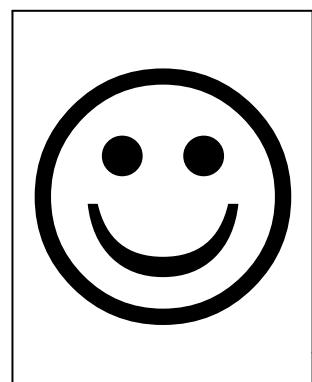
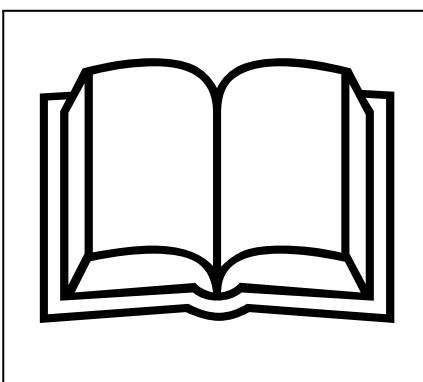
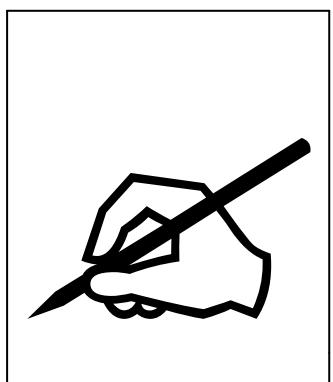
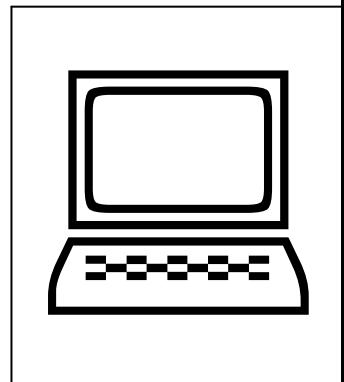
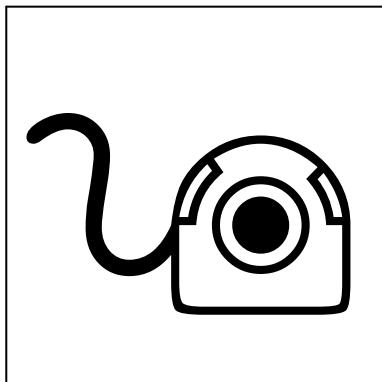
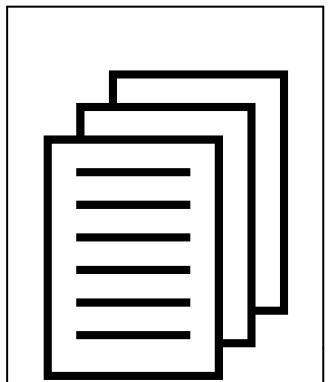
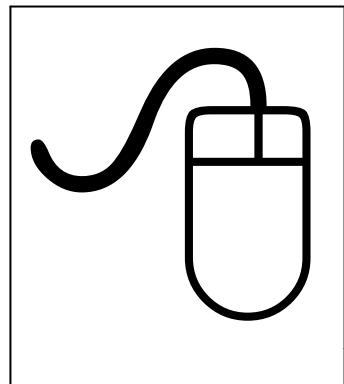
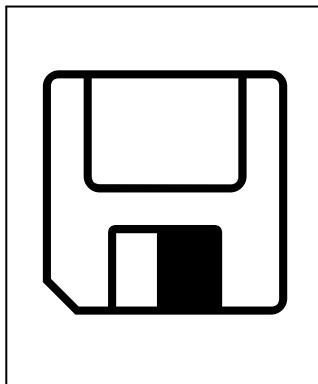
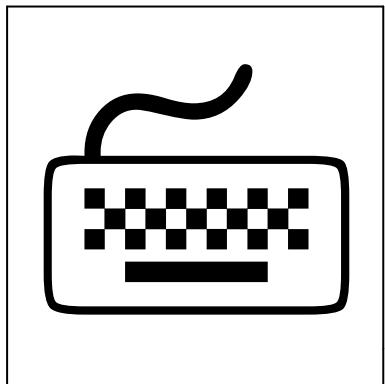


B C P 発行ツール

リファレンスマニュアル



東芝テック株式会社

はじめに

この度は東芝テック BCP 発行ツールをお求めいただき、誠にありがとうございます。

本システムは、弊社 Windows NT 版 BCP プリントシステム V2 で作成したラベルフォーマットを用いて、お客様がバーコードプリンタのコマンドを意識することなくラベル発行プログラムを作成する機能を提供します。

このマニュアルでは、本システムの概要、機能などについて記載しています。

ご注意

1. 本システムの OS を除くソフトウェアの著作権は、東芝テック(株)にあります。
2. ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。
3. マニュアルに記載されている会社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
4. マニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
5. マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、営業または代理店までご連絡ください。
6. 運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

必要なソフトウェア及びハードウェア

基本ソフトウェア：

Windows NT4.0 Workstation (Service Pack 5 以上), Windows 2000 Professional
(いずれも日本語対応版)

開発ソフトウェア：

VisualBasic 5.0 または 6.0
(いずれも日本語対応版)

ハードウェア：

上記ソフトウェアが正常に動作するパーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機)

* ラベルフォーマットを作成するために弊社 Windows NT 版 BCP プリントシステム V2 (B002.006 以降) が必要となります。

目 次

第1章 機能説明	1
1. 概要	2
2. BCP 発行 (BCPCTRL) コントロール機能一覧	3
3. プロパティ・メソッドの基本的な使用手順	4
4. エラー一覧	5
5. プロパティページ	6
6. メッセージについて	9
第2章 カスタムプロパティ	10
1. ControlCode	11
2. PortSetting	12
3. RecvTimeout	13
4. SystemPath	14
5. UsePrinter	15
第3章 カスタムイベント	16
1. OnStatus	17
第4章 カスタムメソッド	18
1. ChangeHeadVoltage	19
2. ChangeIssueMode	20
3. ChangePosition	21
4. ClosePort	22
5. CreateBarcodeData	23
6. Feed	24
7. GetSendBuffCount	26
8. GetStatus	27
9. HeadCheck	29
10. Issue	31
11. LoadLfmFile	34
12. OpenPort	35
13. Reset	36
14. SendCommand	38
15. SetObjectData	39
16. SetObjectDataEx	40
第5章 プリンタ詳細	41
1. カスタムプロパティ	41
2. カスタムイベント	42
3. カスタムメソッド	42
4. プリンタステータス	50

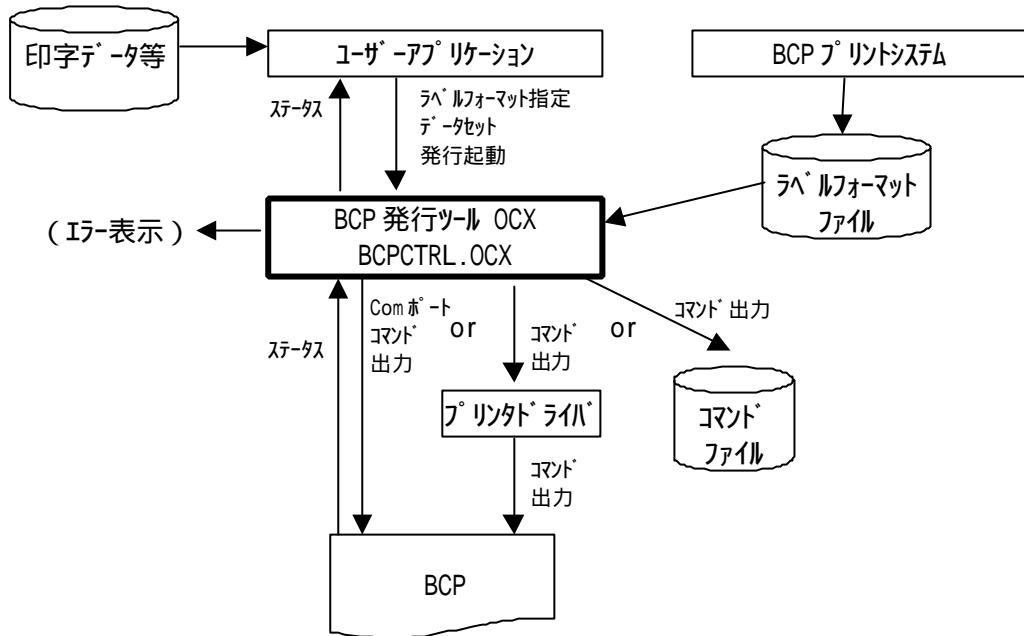
第1章 機能説明

この章では BCP 発行ツールの機能について説明します。

1. 概要

BCP 発行ツールは BCP プリントシステムで作成したラベルフォーマットファイルを使用し、バーコードプリンタのコマンドを意識すること無くラベル発行のプログラムを作成する為の ActiveX コントロールです。
本仕様書では BCP 発行ツールのメソッド、プロパティ等の使用方法を説明します。

[ソフトウェア構成]



- ・コマンドの出力先として、COM ポート^{注1}、プリンタドライバ、ファイルの 3 種類があります。
- ・発行のモードとして、バーコードプリンタのラベル発行が完了するまでユーザーアプリケーションに制御を戻さない発行完了復帰^{注2}とバーコードプリンタのコマンド送信が完了した時点^{注3}でユーザーアプリケーションに制御を戻す送信完了復帰の 2 種類があります。
- ・発行完了復帰の場合は、バーコードプリンタからのステータスはコントロール内で処理し、エラーの場合はメッセージを画面に表示します。（継続 / 中止の選択が可能）
- ・送信完了復帰の場合は、バーコードプリンタからのステータス及び通信上のエラーはイベントとしてユーザーアプリケーションに通知されます^{注2}。

注 1 伝達制御方式は XON/OFF + READY/BUSY 方式です。

注 2 出力先が COM ポートの場合のみ対応。

注 3 送信完了復帰は正確にはバーコードプリンタに対してコマンド送信が完了した時点ではなく、対象となる出力先（COM ポートの場合はコントロールが保持する送信バッファ）にコマンド出力が完了した時点となります。

2. BCP 発行 (BCPCTRL) コントロール機能一覧

出力先 (PortSetting で指定) と復帰モード (OpenPort で指定) により使用可能 () 使用不可 (x) な機能があります。発行モードは出力先が COM の場合のみ発行完了復帰モードが可能です。
COM の () 内が発行完了復帰モードの場合の対応です。

カスタムプロパティ	説明	COM	DRV	FILE
ControlCode	コマンド制御コード方式の設定	()		
PortSetting	通信パラメータの設定	()		
RecvTimeout	受信タイムアウト時間の設定	()		
SystemPath	プリンタ情報ファイル格納パスの設定	()		
UsePrinter	使用するプリンタの設定	()		

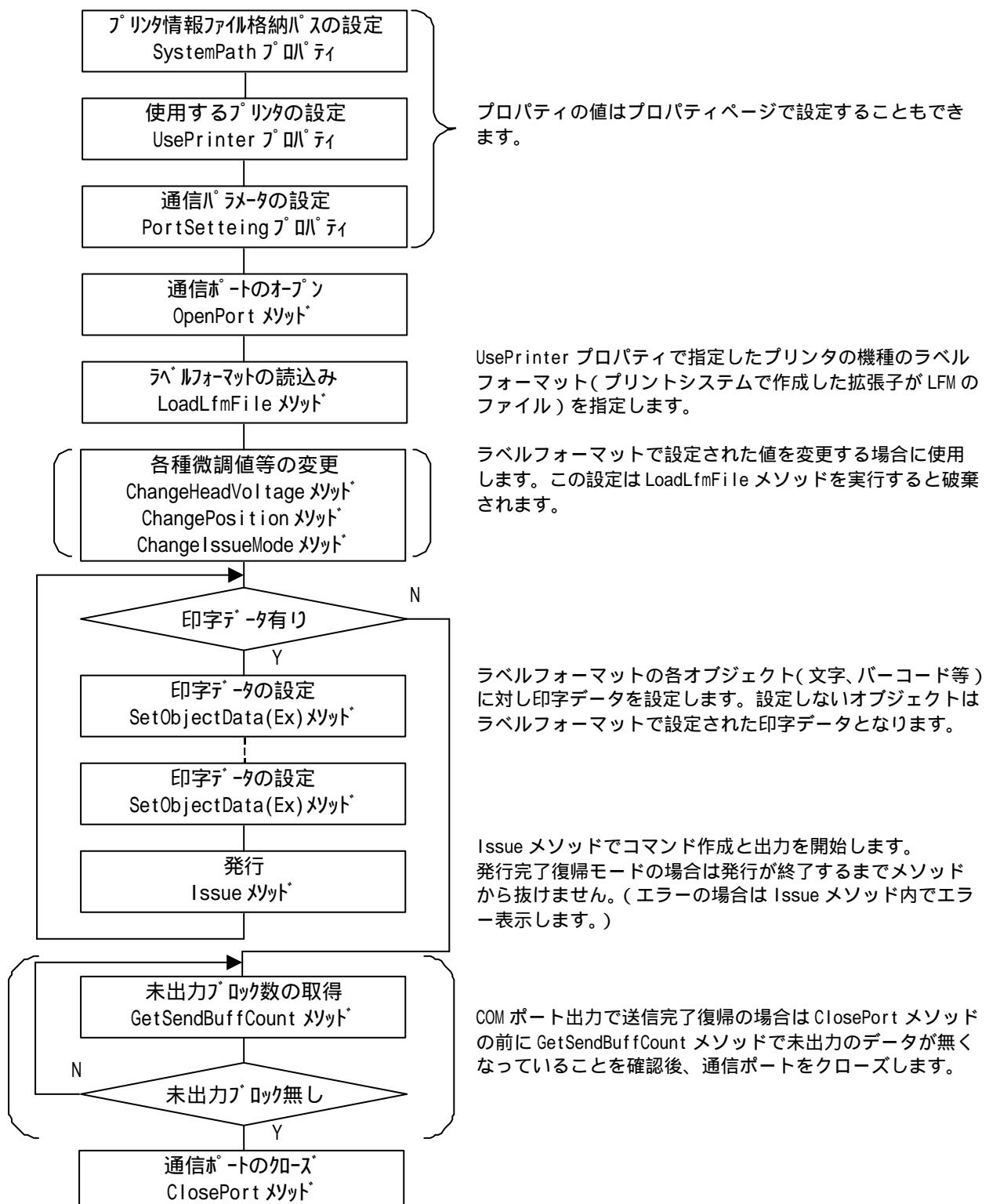
カスタムイベント	説明			
OnStatus	プリンタからステータスを受信した場合に発生	(x)	x	x

カスタムメソッド	説明			
ChangeHeadVoltage	印字濃度微調値の変更	()		
ChangeIssueMode	発行モードの変更	()		
ChangePosition	位置微調値の変更	()		
ClosePort	通信ポートのクローズ	()		
CreateBarcodeData	バーコードデータの作成	()		
Feed	フィード	()		
GetSendBuffCount	未出力ブロック数の取得	(x)	x	x
GetStatus	プリンタのステータスを取得	()		
HeadCheck	ヘッド断線チェック	()		
Issue	発行	()		
LoadLfmFile	ラベルフォーマットの読み込み	()		
OpenPort	通信ポートのオープン	()		
Reset	送信バッファのクリア及びプリンタのリセット ^{*1}	()	x	x
SendCommand	コマンド文字列の送信 ^{*2}	()		
SetObjectData	印字データの設定(オブジェクト番号指定)	()		
SetObjectDataEx	印字データの設定(オブジェクト名指定)	()		

*1) プリンタのリセットは動作保証外です。

*2) 動作保証外です。

3. プロパティ・メソッドの基本的な使用手順



4. エラー一覧

通信関係

エラーコード	内容
&H800A03E8	ポートのオープンに失敗しました
&H800A03E9	ポートがオープンされていません
&H800A03EA	ポートが既にオープンされています
&H800A03EB	ポートへの書き込みに失敗しました

プリンタ関係

エラーコード	内容
&H800A044C	プリンタからの応答がありません
&H800A044D	通信エラーが発生しました *1
&H800A044E	プリンタからステータスを受信しました

*1) ケーブル切断、電源断などにより通信エラーとなります。

ケーブル切断、電源断は DTR と CTS の信号線により確認しています。

設定ファイル関係

エラーコード	内容
&H800A04B0	プリンタリストファイル (PrtList.ini) の読み込みに失敗しました
&H800A04B1	プリンタ情報ファイル (Prt*****.ini) の読み込みに失敗しました

ラベルフォーマット関係

エラーコード	内容
&H800A0514	ラベルフォーマットファイルの読み込みに失敗しました
&H800A0515	UsePrinter プロパティで指定されたプリンタのラベルフォーマットファイルではありません
&H800A0516	印刷レイアウトに誤りがあります
&H800A0517	指定されたフィールドが存在しません
&H800A0518	ラベルフォーマット情報が取得されていません

関数関係

エラーコード	内容
&H800A07D0	サポートされていません

引数関係

エラーコード	内容
&H800A0834	第一引数に不正な値が指定されています
&H800A0835	第二引数に不正な値が指定されています

プロパティ関係

エラーコード	内容
&H800A0BBC	PortSetting プロパティの値が不正です
&H800A0BC3	SystemPath プロパティの値が不正です
&H800A0BC4	UsePrinter プロパティの値が不正です

5. プロパティページ

プロパティページの操作方法について説明します。

基本設定タブ

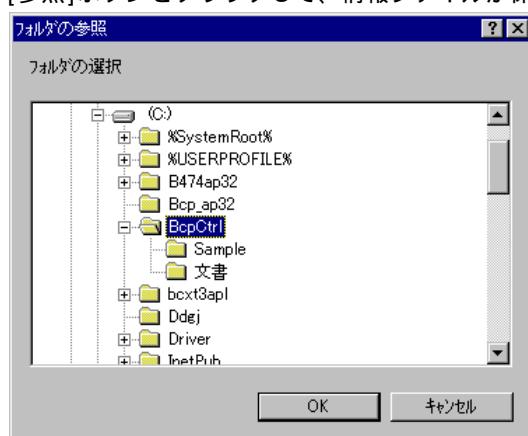


このページで設定する項目は以下のとおりです。

- 情報ファイルパス : SystemPath プロパティ
- プリンタ : UsePrinter プロパティ
- コマンド制御方式 : ControlCode プロパティ

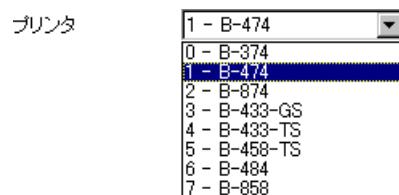
情報ファイルパス

[参照]ボタンをクリックして、情報ファイルが保存されているフォルダを選択します。



プリンタ

使用するプリンタの機種を選択します。



コマンド制御方式

コマンド制御方式を選択します。



通信設定タブ



このページで設定する項目は以下のとおりです。

通信パラメータ : PortSetting プロパティ

応答待ち時間 : RecvTimeout プロパティ

通信パラメータ

出力するポートを選択します。

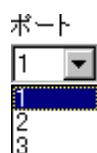
COM は RS-232C を使用してプリンタに出力します。

ドライバは、プリンタドライバのパススルーモードを使用してプリンタに出力します。

ファイルは、指定したファイルにコマンド文字列を出力します。

ポート

COM のポート番号を選択します。



通信速度

通信速度を選択します。



parity

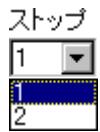
parity チェックの方式を選択します。



データ長
データ長を選択します。



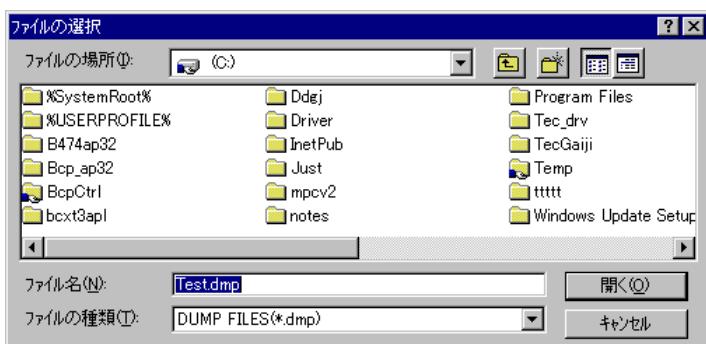
ストップ
ストップビットを選択します。



ドライバ
[参照]ボタンをクリックして、出力するプリンタドライバを選択します。
通常は、使用するプリンタのドライバを選択して下さい。



ファイル
[参照]ボタンをクリックして、出力するファイル名を指定します。



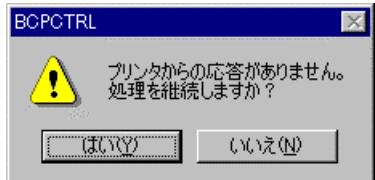
通信パラメータ
から で設定したパラメータを表示します。入力はできません。

応答待ち時間
応答待ち時間(秒)を入力します。

6. メッセージについて

通信設定が COM (発行完了復帰モード) の場合、RecvTimeout プロパティで指定した時間プリンタからの応答がない、またはプリンタからエラーステータスを受信すると、以下のようなエラー情報と処理の継続 / 中断を確認するメッセージが表示されます。

プリンタからの応答なし

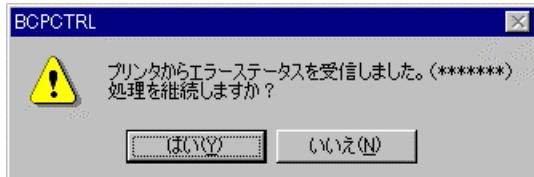


エラー「プリンタからの応答がありません (&H800A044C)」が発生した場合に表示されます。

このメッセージが表示された場合はプリンタがビジーの可能性があるので、しばらく待ってから [はい] ボタンを押してください。

もしこのメッセージが頻繁に表示されるようでしたら RecvTimeout プロパティの設定値を増やしてください。

プリンタエラー



エラー「プリンタからエラーステータスを受信しました (&H800A044E)」が発生した場合に表示されます。

メッセージの “*****” にはプリンタが返したステータス文字列を表示します。プリンタステータス文字列については「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

このメッセージが表示された場合はプリンタのエラーを解除してから [はい] ボタンを押してください。

第2章 カスタムプロパティ

この章ではカスタムプロパティについて説明します。

カスタムプロパティ	説明
ControlCode	コマンド制御コード方式の設定
PortSetting	通信パラメータの設定
RecvTimeout	受信タイムアウト時間の設定
SystemPath	プリンタ情報ファイル格納パスの設定
UsePrinter	使用するプリンタの設定

1. ControlCode

[機能] コマンド制御コード方式を設定、取得します。

[書式] BcpCtrl.ControlCode[=integer%]

[設定値] 整数型（デフォルト：0）

0 ESC (1BH)、LF (0AH)、NULL (00H) 方式

1 { (7BH)、| (7CH)、} (7DH) 方式

上記以外 実行時に「無効なプロパティ値‘380’」が発生します。

[解説] コマンド制御コードとはコマンドの開始位置と終了位置をプリンタ側が識別するための特殊なコードです。通常この設定値を変更する必要はありません。プリンタの設定を変更した場合のみ設定値を変更してください。

なお制御コードに“{”“|”}”方式を設定した場合、コマンドデータに“{”“|”}”の文字を使用するとプリンタがコマンドの開始位置または終了位置を誤解しコマンドエラーとなることがあるので注意してください。

[例] コマンド制御コードを“ESC”“LF NULL”方式に設定します。

```
BcpCtrl.ControlCode = 0
```

現在のコマンド制御コード方式の設定値を取得します。

```
ControlCode = BcpCtrl.ControlCode
```

[備考] このプロパティは OpenPort、LoadLfmFile の各関数で参照されます。設定値を変更する場合は各関数を呼ぶ前に行なってください。

2. PortSetting

[機能] 通信パラメータを設定、取得します。

[書式] BcpCtrl.PortSetting[=string\$]

[設定値] 文字列型 (デフォルト : "COM1:9600,E,8,1")

不正な値が設定された場合は OpenPort 関数でエラーが発生します。

COM の場合

COMn:bbbb,p,d,s COM ポート番号 (システムに依存)

n ポート番号

bbbb ポーレート

p パリティ

d データ長

s ストップビット

設定値の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

このプロパティ値がプリンタの設定とあってない場合は、発行などで通信に失敗します。

ドライバの場合

DRV:DriverName

DriverName ドライバ名称

ファイルの場合

FILE:FilePathName

FilePathName 保存するファイル名 (絶対パス指定)

[例] 出力先が COM1 で通信設定 9600,E,8,1 の場合

BcpCtrl.PortSetting = "COM1:9600,E,8,1"

出力先がドライバ “ TEC B-474 ” の場合

BcpCtrl.PortSetting = "DRV:TEC B-474"

出力先がファイル “ C:\BcpCtrl\Test.dmp ”

BcpCtrl.PortSetting = "FILE:C:\BcpCtrl\Test.dmp"

[備考] このプロパティは OpenPort 関数で参照されます。設定値を変更する場合は OpenPort 関数を呼ぶ前に実行してください。

3. RecvTimeout

[機能] プリンタからの応答を待つ時間(秒)を設定、取得します。

[書式] BcpCtrl.RecvTimeout[=integer%]

[設定値] 整数型(デフォルト:30)

1 ~ 9999 指定された時間(秒)プリンタからの応答を待ちます。

0 タイムアウトは発生しません。

上記以外 実行時に「無効なプロパティ値‘380’」が発生します。

[解説] このプロパティで指定した時間内にプリンタからの応答が何もなかった場合、Feed、GetStatus、HeadCheck、Issue の各関数にてタイムアウトエラーが発生します。

詳細については各関数の説明を参照してください。

なお、このプロパティは発行完了復帰モードでのみ参照されます。

[例] タイムアウト時間を30秒に設定します。

```
BcpCtrl.RecvTimeout = 30
```

現在のタイムアウトプロパティの設定値を取得します。

```
RecvTimeout = BcpCtrl.RecvTimeout
```

[備考] このプロパティは Feed、GetStatus、HeadCheck、Issue の各関数で参照されます。設定値を変更する場合は各関数を呼ぶ前に行なってください。

4. SystemPath

- [機能] プリンタ情報ファイルが格納されているパスを設定、取得します。
- [書式] `BcpCtrl.SystemPath[=string$]`
- [設定値] 文字列型（デフォルト：“C:\BcpCtrl”）
不正な値が設定された場合は LoadLfmFile 関数でエラーが発生します。
- [解説] プリンタ情報ファイルとは PrtList.ini 及び Prt*****.ini（*****はプリンタ機種名）のことです。これらのファイルが格納されているパスを指定します。
- [例] プリンタ情報ファイル格納パスに “C:\BcpCtrl” を設定します。
`BcpCtrl.SystemPath = “C:\BcpCtrl”`
- 現在のプリンタ情報ファイル格納パスを取得します。
`SystemPath = BcpCtrl.SystemPath`
- [備考] このプロパティは LoadLfmFile 関数で参照されます。設定値を変更する場合は LoadLfmFile 関数を呼ぶ前に行なってください。

5. UsePrinter

[機能] 発行に使用するプリンタを設定、または参照します。

[書式] BcpCtrl.UsePrinter[=integer%]

[設定値] 整数型（デフォルト：1）

設定値の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。

不正な値が設定された場合は LoadLfmFile 関数でエラーが発生します。

[例] プリンタを B-474 に設定します。

```
BcpCtrl.UsePrinter = 1
```

現在の使用プリンタプロパティの設定値を取得します。

```
UsePrinter = BcpCtrl.UsePrinter
```

[備考] このプロパティは LoadLfmFile 関数で参照されます。設定値を変更する場合は LoadLfmFile 関数を呼ぶ前に行なってください。

第3章 カスタムイベント

この章ではカスタムイベントについて説明します。

カスタムイベント	説明
OnStatus	プリンタからステータスを受信した場合に発生

1. OnStatus

[機能] プリンタからステータスを受信した場合に発生します。

[書式] Sub BcpCtrl_OnStatus(ByVal PrinterStatus As String, ByVal Result As Long)

[パラメータ]

PrinterStatus プリンタから受信したステータス文字列を返します。

通信設定	PrinterStatus
COM (送信完了復帰)	Result が&H800A044E の場合はプリンタから受信したステータス文字列を返します。
COM (発行完了復帰)	イベントは発生しません。
ドライバ	イベントは発生しません。
ファイル	イベントは発生しません。

PrinterStatus の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

Result

ステータス情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H800A03EB/&H800A044D/&H800A044E
COM (発行完了復帰)	イベントは発生しません。
ドライバ	イベントは発生しません。
ファイル	イベントは発生しません。

&H800A03EB ポートへの書き込みに失敗しました。

&H800A044D 通信エラーが発生しました。

&H800A044E プリンタからステータスを受信しました。

[解説]

このイベントは下記の場合に発生します。

(1) 発行終了時、及びエラー発生時（ステータス自動送信）

フィード時、発行終了時（発行方法が連続発行の場合は指定枚数印字終了後、剥離発行時は1枚印字終了後）各種エラー時に発生します。

(2) ステータス要求時（ステータス要求）

GetStatus 関数でステータスを要求し、プリンタがステータスを返した時に発生します。

(3) 通信障害時

バッファフルによりポートへの書き込みに失敗した場合に発生します。

通信設定が COM (発行完了復帰)、ドライバ、ファイルの場合 OnStatus イベントは発生しません。

第4章 カスタムメソッド

この章ではカスタムメソッドについて説明します。

カスタムメソッド	説明
ChangeHeadVoltage	印字濃度微調値の変更
ChangeIssueMode	発行条件の変更
ChangePosition	位置微調値の変更
ClosePort	通信ポートのクローズ
CreateBarcodeData	バーコードデータの作成
Feed	フィード
GetSendBuffCount	未出力ブロック数の取得
GetStatus	プリンタのステータスを取得
HeadCheck	ヘッド断線チェック
Issue	発行
LoadLfmFile	ラベルフォーマットの読み込み
OpenPort	通信ポートのオープン
Reset	送信バッファのクリア及びプリンタのリセット
SendCommand	コマンド文字列の送信
SetObjectData	印字データの設定(オブジェクト番号指定)
SetObjectDataEx	印字データの設定(オブジェクト名指定)

1. ChangeHeadVoltage

[機能]	印字濃度微調値を変更します。
[書式]	BcpCtrl.ChangeHeadVoltage(ByVal Flag As Integer, ByVal Adjust As Integer, ByRef Result As Long) As Boolean
[パラメータ]	
Flag	変更するモードを指定します。 0 転写（リボンがある場合の印字濃度微調） 1 発色（リボンがない場合の印字濃度微調）
Adjust	微調値を指定します。 Adjust の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。
Result	変更に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。 &H800A0518 ラベルフォーマット情報が取得されていません。 &H800A07D0 サポートされていません。 &H800A0834 第一引数 (Flag) に不正な値が指定されています。 &H800A0835 第二引数 (Adjust) に不正な値が指定されています。
[戻り値]	印字濃度微調値の変更に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。
[解説]	LoadLfmFile 関数でラベルフォーマットから取得した印字濃度微調値を変更します。 再度 LoadLfmFile 関数が呼ばれるとき印字濃度微調値がラベルフォーマットの値に変更されるので注意してください。 Flag にプリンタでサポートされていないモードを指定した場合、Result に&H800A07D0 が返されます。
[例]	発色を-5 に設定します。 <pre>Dim Ret As Boolean Dim Result As Long Ret = BcpCtrl.ChangeHeatVoltage(1, -5, Result) If Ret = False Then 'エラー処理 End If</pre>
[備考]	この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。

2. ChangeIssueMode

[機能]	発行条件を変更します。										
[書式]	BcpCtrl.ChangeIssueMode(ByVal Flag As Integer, ByVal Type As Integer, ByRef Result As Long) As Boolean										
[パラメータ]											
Flag	変更するモードを指定します。 <table><tr><td>0</td><td>センサー種別</td></tr><tr><td>1</td><td>発行方法</td></tr><tr><td>2</td><td>発行スピード</td></tr><tr><td>3</td><td>リボンモード</td></tr><tr><td>4</td><td>ローテーション</td></tr></table>	0	センサー種別	1	発行方法	2	発行スピード	3	リボンモード	4	ローテーション
0	センサー種別										
1	発行方法										
2	発行スピード										
3	リボンモード										
4	ローテーション										
Type	種類を指定します。 Type の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。										
Result	変更に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。 &H800A0518 ラベルフォーマット情報が取得されていません。 &H800A0834 第一引数 (Flag) に不正な値が指定されています。 &H800A0835 第二引数 (Type) に不正な値が指定されています。										
[戻り値]	発行条件の変更に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。										
[解説]	LoadLfmFile 関数でラベルフォーマットから取得した発行モードを変更します。 再度 LoadLfmFile 関数が呼ばれると発行条件がラベルフォーマットの設定に変更されるので注意してください。										
[例]	センサー種別を 0 (センサーなし) に設定します。 <pre>Dim Ret As Boolean Dim Result As Long Ret = BcpCtrl.ChangeIssueMode(0, 0, Result) If Ret = False Then 'エラー処理 End If</pre>										
[備考]	この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。										

3. ChangePosition

[機能]	位置微調値を変更します。
[書式]	BcpCtrl.ChangePosition(ByVal Flag As Integer, ByVal Adjust As Integer, ByRef Result As Long) As Boolean
[パラメータ]	
Flag	変更するモードを指定します。 0 フィード量 1 カット位置 2 バックフィード量
Adjust	微調値を指定します。 Adjust の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。
Result	変更に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。 &H800A0518 ラベルフォーマット情報が取得されていません。 &H800A0834 第一引数 (Flag) に不正な値が指定されています。 &H800A0835 第二引数 (Adjust) に不正な値が指定されています。
[戻り値]	位置微調値の変更に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。
[解説]	LoadLfmFile 関数でラベルフォーマットから取得した位置微調値を変更します。 再度 LoadLfmFile 関数が呼ばれるとき位置微調値がラベルフォーマットの値に変更されるので注意してください。
[例]	フィード量を+50 に設定します。 <pre>Dim Ret As Boolean Dim Result As Long Ret = BcpCtrl.ChangePosition(0, 50, Result) If Ret = False Then 'エラー処理 End If</pre>
[備考]	この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。

4. ClosePort

[機能] 現在使用している通信ポートをクローズします。

[書式] BcpCtrl.ClosePort(ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]

Result 処理に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。
&H800A03E9 ポートがオープンされていません。

[戻り値] クローズに成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

[解説]

この関数によりコントロール内部の送信バッファがクリアされます。
通信設定が COM (送信完了復帰) の場合は、送信バッファを全て出力してからこの関数を呼ぶよ
うにプログラムを組む必要があるので注意してください。
なお送信バッファの未出力ブロック数は GetSendBuffCount 関数で取得できます。

[例] ポートをクローズします。

```
Dim Ret As Boolean
Dim Count As Integer
Dim Result As Long

'送信バッファが空になるまで待機（送信完了復帰の場合のみこの処理を行ないます）
Do
    BcpCtrl1.GetSendBuffCount Count, Result
    DoEvents
Loop Until Count <= 0

'通信ポートのクローズ
Ret = BcpCtrl.ClosePort(Result)
If Ret = False Then
    'エラー処理
End If
```

5. CreateBarcodeData

[機能]	チェックデジットを付加したデータを作成します。
[書式]	BcpCtrl.CreateBarcodeData(ByVal BarType As String, ByVal CDTType As String, ByVal SrcData As String, ByRef ResData As String) As Boolean
[パラメータ]	
BarType	バーコード種別を指定します。 バーコード種別の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。
CDType	チェックデジット種別を指定します。 チェックデジット種別の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。
SrcData	チェックデジットを計算するバーコードデータを指定します。
ResData	チェックデジットを付加したデータを返します。 作成に失敗した場合は空文字を返します。
[戻り値]	作成に成功した場合は1、失敗した場合は0を返します。
[例]	データ "491234567890" から JAN13 モジュラス 10 のバーコードデータを作成します。 Dim Ret As Boolean Dim SrcData As String Dim ResData As String Data = "491234567890" Ret = BcpCtrl.CreateBarcodeData("B", "1", SrcData, ResData) If Ret = False Then 'エラー処理 End If

6. Feed

[機能] 紙送りを行ないます。

[書式] `BcpCtrl.Feed(ByVal Cutting As Long, ByRef PrinterStatus As String,
ByRef Result As Long) As Boolean`

[パラメータ]

Cutting 紙送りの際カットをする場合は 1、しない場合は 0 を指定します。
ラベルフォーマット設定の発行方法（カットの有無）は無視されます。

PrinterStatus

プリンタから受信したステータス文字列を返します。

通信設定	PrinterStatus
COM (送信完了復帰)	常に空文字を返します。 プリンタステータスは OnStatus イベントで取得してください。
COM (発行完了復帰)	Result が &H800A044E の場合はプリンタから受信したステータス文字列を返します。その他の場合は空文字を返します。
ドライバ	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。
ファイル	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。

PrinterStatus の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

Result

以下の情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A0518/&H800A0834
COM (発行完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834/ &H800A044C/&H800A044D/&H800A044E
ドライバ	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834
ファイル	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834

&H0	処理に成功しました。
&H800A0007	メモリの確保に失敗しました。
&H800A03E9	ポートがオープンされていません。
&H800A03EB	ポートへの書き込みに失敗しました。
&H800A0518	ラベルフォーマット情報が取得されていません。
&H800A0834	第一引数 (Cutting) に不正な値が指定されています。
&H800A044C	プリンタからの応答がありません。
&H800A044D	ケーブル切断、電源断などにより通信エラーが発生しました。
&H800A044E	プリンタからステータスを受信しました。

[戻り値]

以下の処理に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

COM (送信完了復帰)	コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	紙送りが完了（プリンタから紙送り完了ステータスを受信）
ドライバ	コマンドデータをプリンタドライバに出力
ファイル	コマンドデータをファイルに出力

[解説] ChangeIssueMode 関数または ChangePosition 関数でラベルフォーマットの設定を変更する場合はこの関数の前に行なってください。

通信設定により動作が異なります。詳細は以下のとおりです。

COM (送信完了復帰):

送信バッファにコマンドを作成すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。その後プリンタからステータスを受信するか、または通信に障害が起きると OnStatus イベントが発生します。

COM (発行完了復帰):

紙送り前にプリンタステータスを確認し、その後紙送りを行ないます。プリンタステータス確認時及び紙送り中のステータス応答待ち時間は RecvTimeout プロパティの設定時間となります。コマンド送信後、プリンタから紙送り完了ステータスを受信すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H800A044E が返されます。

処理中にプリンタからエラーステータスを受信したり、応答待ち時間内にステータス応答がないとエラー情報と処理の継続/中断を確認するメッセージが表示されます。継続とすれば処理を続行しますが、中断とした場合は戻り値 0 で関数が終了します。このとき Result には処理を中断した時点のエラー情報が返されます。

Result が&H800A044E の場合 PrinterStatus は最後に受信したプリンタステータスが返されます。

ドライバ:

プリンタドライバにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。ただしプリンタからのステータスを受信できないため OnStatus イベントは発生しません。

ファイル:

ファイルにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。OnStatus イベントは発生しません。

[例]

紙送りを行ないます。

```
Dim Ret As Boolean  
Dim PrinterStatus As String  
Dim Result As Long  
  
Ret = BcpCtrl.Feed(True, PrinterStatus, Result)  
If Ret = False Then  
    'エラー処理  
End If
```

[備考]

この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。この関数を呼ぶ前に OpenPort 関数で通信ポートをオープンする必要があります。

7. GetSendBuffCount

[機能] 送信バッファの未出力ブロック数を取得します。

[書式] `BcpCtrl.GetSendBuffCount(ByRef Count As Integer,
ByRef Result As Long) As Boolean`

[パラメータ]

Count 送信ブロック数を返します。

Result 取得に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H800A03E9
COM (発行完了復帰)	常に&H800A07D0 を返します。
ドライバ	常に&H800A07D0 を返します。
ファイル	常に&H800A07D0 を返します。

&H800A03E9 ポートがオープンされていません。

&H800A07D0 サポートされていません。

[戻り値] 取得に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

[解説] 送信バッファの未出力ブロック数を取得します。

ブロックとは送信バッファから通信ポートに対して 1 度に渡すデータの単位を表します。

通信設定が COM (発行完了復帰) ドライバ、ファイルの場合は送信ブロック数を取得できないため戻り値 0 で関数が終了します。このとき Count は 0、Result は&H800A07D0 が返されます。

[例] 送信コマンド数が 0 になるまで待機します。

```
Dim Count As Integer  
Dim Result As Long  
  
Do  
    BcpCtrl1.GetSendBuffCount Count, Result  
    DoEvents  
Loop Until Count <= 0
```

[備考] この関数を呼ぶ前に OpenPort 関数で通信ポートをオープンする必要があります。

8. GetStatus

[機能] プリンタステータスを取得します。

[書式] `BcpCtrl.GetStatus(ByRef PrinterStatus As String,
ByRef Result As Long) As Boolean`

[パラメータ]

PrinterStatus

プリンタから受信したステータス文字列を返します。

通信設定	PrinterStatus
COM (送信完了復帰)	常に空文字を返します。 プリンタステータスは OnStatus イベントで取得してください。
COM (発行完了復帰)	Result が &H800A044E の場合はプリンタから受信したステータス文字列を返します。その他の場合は空文字を返します。
ドライバ	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。
ファイル	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。

PrinterStatus の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

Result

以下の情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H0 / &H800A0007 / &H800A03E9
COM (発行完了復帰)	&H800A0007 / &H800A03E9 / &H800A03EB &H800A044C / &H800A044D / &H800A044E
ドライバ	常に &H800A07D0 を返します。
ファイル	常に &H800A07D0 を返します。

&H0	処理に成功しました。
&H800A0007	メモリの確保に失敗しました。
&H800A03E9	ポートがオープンされていません。
&H800A03EB	ポートへの書き込みに失敗しました。
&H800A07D0	サポートされていません。
&H800A044C	プリンタからの応答がありません。
&H800A044D	ケーブル切断、電源断などにより通信エラーが発生しました。
&H800A044E	プリンタからステータスを受信しました。

[戻り値]

以下の処理に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

COM (送信完了復帰)	コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	プリンタステータスを取得
ドライバ	(常に失敗)
ファイル	(常に失敗)

[解説] 通信設定により動作が異なります。詳細は以下のとおりです。

COM(送信完了復帰):

送信バッファにコマンドを作成すると戻り値1で関数が終了します。このときResultには&H0、PrinterStatusには空文字列が返されます。その後プリンタからステータスを受信するか、または通信に障害が起きるとOnStatusイベントが発生します。

COM(発行完了復帰):

コマンド送信後、プリンタからステータスを受信すると戻り値1で関数が終了します。このときResultには&H800A044E、PrinterStatusには最後に受信したプリンタステータスが返されます。処理中応答待ち時間内にステータス応答がないと、戻り値0で関数が終了します。このときResultには処理を中断した時点のエラー情報が返されます。

ドライバ／ファイル:

ステータス要求コマンドを受信せずに戻り値0で関数が終了し、Resultには&H800A07D0、PrinterStatusには空文字が返されます。

[例] プリンタのステータスを取得します。

```
Dim Ret As Boolean  
Dim PrinterStatus As String  
Dim Result As Long  
  
Ret = BcpCtrl.GetStatus(PrinterStatus, Result)  
If Ret = True Then  
    'プリンタステータスの表示など  
End If
```

[備考] この関数を呼ぶ前にOpenPort関数で通信ポートをオープンする必要があります。

9. HeadCheck

[機能] ヘッド断線チェックを行ないます。

[書式] `BcpCtrl.HeadCheck(ByVal Wait As Integer, ByRef PrinterStatus As String,
ByRef Result As Long) As Boolean`

[パラメータ]

Wait

プリンタからのヘッド断線エラーステータスを待つ時間(秒)を設定します。

Waitの詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。

なおCOM(発行完了復帰)以外では待機を行ないませんが、値のチェックは通信設定に関わらず行なうので、適当な値を指定する必要があります。

PrinterStatus

プリンタから受信したステータス文字列を返します。

通信設定	PrinterStatus
COM (送信完了復帰)	常に空文字を返します。 プリンタステータスはOnStatusイベントで取得してください。
COM (発行完了復帰)	Resultが&H800A044Eの場合はプリンタから受信したステータス文字列を返します。その他の場合は空文字を返します。
ドライバ	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。
ファイル	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。

PrinterStatusの詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。

Result

処理に成功した場合は&H0を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9
COM (発行完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0834 &H800A044C/&H800A044D/&H800A044E
ドライバ	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB
ファイル	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB

&H800A0007 メモリの確保に失敗しました。

&H800A03E9 ポートがオープンされていません。

&H800A03EB ポートへの書き込みに失敗しました。

&H800A0834 第一引数(Wait)に不正な値が指定されています。

&H800A044C プリンタからの応答がありません。

&H800A044D ケーブル切断、電源断などにより通信エラーが発生しました。

&H800A044E プリンタからステータスを受信しました。

[戻り値]

以下の処理に成功した場合は1、失敗した場合は0を返します。

COM (送信完了復帰)	コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	ヘッド断線チェックが完了 (ただしヘッドが断線していた場合は0を返す)
ドライバ	コマンドデータをプリンタドライバに出力
ファイル	コマンドデータをファイルに出力

[解説] 通信設定により動作が異なります。詳細は以下のとおりです。

COM (送信完了復帰) :

送信バッファにコマンドを作成すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。その後プリンタからステータスを受信するか、または通信に障害が起きると OnStatus イベントが発生します。ただしヘッドが断線していない場合 OnStatus イベントは発生しません。

COM (発行完了復帰) :

ヘッド断線チェック前にプリンタステータスを確認し、その後ヘッド断線チェックを行ないます。プリンタステータス確認時のステータス応答待ち時間は RecvTimeout プロパティの設定時間となります。

コマンド送信後、Wait で指定された時間待機しプリンタから何もエラーステータスを受信しなければ戻り値 1 で関数が終了します。このとき、Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。

プリンタステータス確認時にプリンタからエラーステータスを受信したり、応答待ち時間内にステータス応答がないと、エラー情報と処理の継続/中断を確認するメッセージが表示されます。継続とすれば処理を続行しますが、中断とした場合は戻り値 0 で関数が終了します。このとき Result には処理を中断した時点のエラー情報が返されます。

ヘッド断線チェック時にプリンタからエラーステータスを受信したり、応答待ち時間内にステータス応答がないと、戻り値 0 で関数が終了します。このとき Result には処理を中断した時点のエラー情報が返されます。またプリンタからヘッド断線ステータスを受信した場合も戻り値 0 で関数が終了します。このとき Result には&H800A044E、PrinterStatus にはプリンタからのステータス文字列が返されます。

ドライバ :

プリンタドライバにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき RecvStatus には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。ただしプリンタからのステータスを受信できないため OnStatus イベントは発生しません。

ファイル :

ファイルにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき RecvStatus には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。OnStatus イベントは発生しません。

[例] ヘッド断線チェックを行ないます。

```
Dim Ret As Boolean  
Dim PrinterStatus As String  
Dim Result As Long  
  
Ret = BcpCtrl.HeadCheck(10, PrinterStatus, Result)  
If Ret = False Then  
    'エラー処理  
End If
```

[備考] この関数を呼ぶ前に OpenPort 関数で通信ポートをオープンする必要があります。
一部機種では動作しません。詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

10. Issue

[機能] ラベルの発行を行ないます。

[書式] BcpCtrl.Issue(ByVal IssueCnt As Integer, ByVal CutInterval As Integer,
ByRef PrinterStatus As String, ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]

IssueCnt 発行枚数を指定します。
IssueCnt の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。

CutInterval

カット間隔を指定します。

CutInterval の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。
ラベルフォーマット設定の発行方法（カットの有無）は無視されます。

PrinterStatus

プリンタから受信したステータス文字列を返します。

通信設定	PrinterStatus
COM (送信完了復帰)	常に空文字を返します。 プリンタステータスはOnStatusイベントで取得してください。
COM (発行完了復帰)	Result が&H800A044E の場合はプリンタから受信したステータス文字列を返します。その他の場合は空文字を返します。
ドライバ	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。
ファイル	常に空文字を返します。プリンタステータスは取得できません。

PrinterStatus の詳細は「第5章 プリンタ詳細」を参照してください。

Result

以下の情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A0518/&H800A0834/&H800A0835
COM (発行完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834/ &H800A0835/&H800A044C/&H800A044D/&H800A044E
ドライバ	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834/ &H800A0835
ファイル	&H0/&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0518/&H800A0834/ &H800A0835

&H0	処理に成功しました。
&H800A0007	メモリの確保に失敗しました。
&H800A03E9	ポートがオープンされていません。
&H800A03EB	ポートへの書き込みに失敗しました。
&H800A0518	ラベルフォーマット情報が取得されていません。
&H800A0834	第一引数 (IssueCnt) に不正な値が指定されています。
&H800A0835	第二引数 (CutInterval) に不正な値が指定されています。
&H800A044C	プリンタからの応答がありません。
&H800A044D	ケーブル切断、電源断などにより通信エラーが発生しました。
&H800A044E	プリンタからエラーステータスを受信しました。

[戻り値]

以下の処理に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

COM (送信完了復帰)	コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	発行が完了
ドライバ	コマンドデータをプリンタドライバに出力
ファイル	コマンドデータをファイルに出力

[解説]

ChangeHeadVoltage 関数、ChangeIssueMode 関数、ChangePosition 関数でラベルフォーマットの設定を変更する場合はこの関数の前に行なってください。

LoadLfmFile 関数を呼び出してから 1 回目の発行では全コマンドが送信されます。2 回目からの発行では ChangeHeadVoltage、ChangePosition、SetObjectData、SetObjectDataEx の各関数が呼ばれたらその関数に関わるコマンドのみが送信されます。

通信設定により動作が異なります。詳細は以下のとおりです。

COM (送信完了復帰) :

送信バッファにコマンドを作成すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき RecvStatus には &H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。その後プリンタからステータスを受信するか、または通信に障害が起きると OnStatus イベントが発生します。

COM (発行完了復帰) :

発行前にプリンタステータスを確認し、その後発行を行ないます。プリンタステータス確認時のステータス応答待ち時間は RecvTimeout プロパティの設定時間、発行中のプリンタからの応答待ち時間は RecvTimeout プロパティ × IssueCnt となります。

コマンド送信後、プリンタから発行完了ステータスを受信すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には &H800A044E が返されます。

処理中にプリンタからエラーステータスを受信したり、応答待ち時間内にステータス応答がないとエラー情報と処理の継続/中断を確認するメッセージが表示されます。継続とすれば処理を続行しますが、中断とした場合は戻り値 0 で関数が終了します。このとき Result には処理を中断した時点のエラー情報が返されます。

Result が &H800A044E の場合 PrinterStatus は最後に受信したプリンタステータスが返されます。

ドライバ :

プリンタドライバにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき RecvStatus には &H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。ただしプリンタからのステータスを受信できないため OnStatus イベントは発生しません。

ファイル :

ファイルにコマンドを出力すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき RecvStatus には &H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。OnStatus イベントは発生しません。

[例]

```
ラベルを 4 枚、2 枚ずつカットで発行します。
ここでは COM ( 発行完了復帰 ) の場合を例に挙げ、発行に必要な一連の処理も紹介します。
Dim Ret As Boolean
Dim PrinterStatus As String
Dim Result As Long

' ポートを COM ( 発行完了復帰 ) でオープン
Ret = BcpControl.OpenPort(1, Result)
If Ret = False Then
    ' エラー処理
End If

' ラベルフォーマット情報の取得
Ret = BcpCtrl.LoadLfmFile("C:\BcpCtrl\Sample\Smp474.lfm", Result)
If Ret = False Then
    ' エラー処理
End If

' オブジェクトデータの変更
Ret = BcpCtrl.SetObjectData(3, "B-458-TS23", Result)
If Result = 0 Then
    ' エラー処理
End If

' 4 枚を 2 枚ずつカットで発行
Ret = BcpCtrl.Issue(4, 2, PrinterStatus, Result)
If Ret = False Then
    ' エラー処理
End If

' ポートのクローズ
Ret = BcpCtrl.ClosePort(Result)
If Ret = False Then
    ' エラー処理
End If
```

[備考]

この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。
この関数を呼ぶ前に OpenPort 関数で通信ポートをオープンする必要があります。

11. LoadLfmFile

[機能] 発行するラベルフォーマットを読み込みます。

[書式] BcpCtrl.LoadLfmFile(ByVal FilePathName As String,
ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]
FilePathName ラベルフォーマットファイル名（絶対パス）を指定します。

Result 読み込みに成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。
&H800A0007 メモリの確保に失敗しました。
&H800A04B0 プリンタリストファイル(PrtList.ini)の読み込みに失敗しました。
&H800A04B1 プリンタ情報ファイル(Prt*****.ini)の読み込みに失敗しました。
&H800A0514 ラベルフォーマットファイルの読み込みに失敗しました。
&H800A0515 UsePrinter プロパティで指定されたプリンタのラベルフォーマット
ファイルではありません。
&H800A0516 印刷レイアウトに誤りがあります。

[戻り値] 読み込みに成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

[解説] ラベルフォーマット情報を取得します。
ChangeHeadVoltage 関数、ChangeIssueMode 関数、ChangePosition 関数でラベルフォーマットの
設定を変更した場合でも、この関数により各設定がラベルフォーマットより取得し直されます。
再度設定を変更する場合はこの関数の後に各関数を呼んでください。

[例] ラベルフォーマットを読み込みます。

```
Dim Ret As Boolean
Dim Result As Long

Ret = BcpCtrl.LoadLfmFile("C:\BcpCtrl\Sample\Smp474.lfm", Result)
If Ret = False Then
    'エラー処理
End If
```

[備考] この関数では ControlCode、SystemPath、UsePrinter の各プロパティを参照します。
各プロパティに対する変更はこの関数を呼び前に行なってください。

12. OpenPort

[機能] 通信ポートをオープンします。

[書式] BcpCtrl.OpenPort(ByVal IssueMode As Integer,
ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]

IssueMode 発行モードを指定します。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 送信完了復帰モード |
| 2 | 発行完了復帰モード |

Result オープンに成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

- | | |
|------------|------------------------------------|
| &H800A03E8 | ポートのオープンに失敗しました。 |
| &H800A03EA | ポートが既にオープンされています。 |
| &H800A0BBC | PortSetting プロパティの値が不正です。 |
| &H800A0834 | 第一引数 (IssueMode) に不正な値が指定されています。 |
| &H800A07D0 | サポートされていません。 |

[戻り値] オープンに成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

[解説] 発行完了復帰モードは出力先が COM の場合のみ有効です。出力先がドライバ及びファイルの時に IssueMode に発行完了復帰モードを指定した場合は Result に&H800A07D0 を返します。

送信完了復帰モードでは、コマンドを送信した時点(*1)で処理をユーザーに戻します。出力先が COM の場合はプリンタからステータスが返されると OnStatus イベントが発生するのでエラー処理はここで行なってください。ただし、プリンタのエラーとプログラムの処理は同期していないので注意が必要です。また、出力先がドライバやファイルの場合はエラーの取得ができないため OnStatus イベントは発生しません。従ってプリンタからのエラーの表示などを行なうことはできません。

発行完了復帰モードでは、プリンタと同期を取りながら処理を行ないます。例えば発行が完了(プリンタから発行完了ステータスを受信)するまではユーザーに処理が戻りませんが、プリンタがエラーとなった場合はコントロールがエラーメッセージを表示します。そしてユーザーは発行の継続をするかどうかメッセージ上のボタンで決めるため、発行の完了、中止などの確実な確認を行なうことができます。

*1) 実際には出力先によりタイミングが異なります。

COM	コントロール内部の送信バッファにデータをセットした時点
ドライバ	プリンタドライバにデータを出力した時点
ファイル	ファイルにデータを出力した時点

[例] 通信ポートを COM (送信完了復帰) でオープンします。

```
Dim Ret As Long  
Dim Result As Long  
  
BcpCtrl.Settings = "COM1:9600,E,8,1"  
Ret = BcpControl.OpenPort(0, Result)  
If Ret = False Then  
    'エラー処理  
End If
```

[備考] この関数では ControlCode、PortSetting の各プロパティを参照します。
各プロパティに対する変更はこの関数を呼ぶ前に行なってください。

13. Reset

[機能] 送信バッファのクリア及びプリンタを初期状態に戻します。

[書式] `BcpCtrl.Reset(ByVal Wait As Integer, ByVal PrinterReset As Long,
ByRef Result As Long) As Boolean`

[パラメータ]

Wait

プリンタの初期化を待つ時間（秒）を設定します。

Wait の詳細は「第 5 章 プリンタ詳細」を参照してください。

ただし PrinterReset が 0 の場合（送信バッファのみのクリア）や COM（送信完了復帰）では待機を行なわないため、この設定は無視されます。

PrinterReset

初期化方法を指定します。

0 送信バッファのクリアのみ行ないます。

1 送信バッファのクリアとプリンタの初期化を行ないます。
(動作保証外)

Result

処理に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A0834
COM (発行完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB/&H800A0834
ドライバ	常に&H800A07D0 を返します
ファイル	常に&H800A07D0 を返します

&H800A0007 メモリの確保に失敗しました。

&H800A03E9 ポートがオープンされていません。

&H800A03EB ポートへの書き込みに失敗しました。

&H800A0834 第一引数（Wait）に不正な値が指定されています。

&H800A07D0 サポートされていません。

[戻り値]

以下の処理に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

COM (送信完了復帰)	PrinterReset = 0 : 送信バッファのクリア PrinterReset = 1 : コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	PrinterReset = 0 : 送信バッファのクリア PrinterReset = 1 : プリンタの初期化が完了
ドライバ	(常に失敗)
ファイル	(常に失敗)

[解説]

コントロール内部で保持している送信バッファをクリアします。

PrinterReset が 0 の場合はプリンタの初期化は行ないませんので、プリンタの電源を手動で OFF / ON してから次の発行を行なってください。

PrinterReset が 1 の場合はプリンタの初期化も同時にに行ないます。ただし送信バッファが溜まっている状態などでは正常に動作しません。プリンタの初期化を行なう場合は動作保証できませんので、ユーザーの責任において使用してください。

プリンタの電源を OFF/ON したりリセットすると、プリンタで保持されていたラベル情報などが初期化されてしまいます。発行を行なう前に再度 LoadLfmFile メソッドでラベルフォーマット情報を取得し直す必要があるので注意してください。

PrinterReset が 1 の場合は通信設定により動作が異なります。詳細は以下のとおりです。

COM (送信完了復帰):

送信バッファにコマンドを作成すると戻り値 1 で関数が終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。その後プリンタからステータスを受信するか、または通信に障害が起きると OnStatus イベントが発生します。ただしプリンタの初期化が完了してもイベントは発生しません。またユーザーが数秒間待機するようにプログラムを作成する必要があります。

COM (発行完了復帰):

コマンド送信後 Wait で指定された時間待機し、プリンタの初期化に成功、失敗に関わらず戻り値 1 で終了します。このとき Result には&H0、PrinterStatus には空文字列が返されます。

[例]

送信バッファのみ初期化します。

```
Dim Ret As Boolean  
Dim Result As Long  
  
Ret = BcpCtrl.Reset(3, False, Result)  
If Ret = False Then  
    'エラー処理  
End If
```

[備考]

プリンタの初期化をする場合は、この関数を呼ぶ前に OpenPort 関数で通信ポートをオープンする必要があります。

14. SendCommand

[機能] コマンド文字列を送信します。

[書式] BcpCtrl.SendCommand(ByVal Command As String,
ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]
Command 送信するコマンド文字列（コマンド制御コードは含まない）を指定します。

Result 成功した場合は&H0を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

通信設定	Result
COM (送信完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9
COM (発行完了復帰)	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB
ドライバ	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB
ファイル	&H800A0007/&H800A03E9/&H800A03EB

&H800A0007 メモリの確保に失敗しました。
&H800A03E9 ポートがオープンされていません。
&H800A03EB ポートへの書き込みに失敗しました。

[戻り値] 以下の処理に成功した場合は1、失敗した場合は0を返します。

COM (送信完了復帰)	コマンドデータを送信バッファに作成
COM (発行完了復帰)	コマンドデータをCOMポートに出力
ドライバ	コマンドデータをプリンタドライバに出力
ファイル	コマンドデータをファイルに出力

[解説] コマンド文字列を送信します。
COM（送信完了復帰）の場合、一部エラーはOnStatusイベントにより返されます。
詳しくはOnStatusイベントを参照してください。

特殊な関数のため動作保証できません。ユーザーの責任において使用してください。

[例] フラッシュメモリ初期化コマンドを送信します。

```
Dim Ret As Boolean
Dim Result As Long

Ret = BcpCtrl.SendCommand("J1;C", Result)
If Result = False Then
    'エラー処理
End If
```

[備考] この関数を呼ぶ前にOpenPort関数で通信ポートをオープンする必要があります。

15. SetObjectData

[機能] 指定されたオブジェクトに対し印字データを設定します。

[書式] BcpCtrl.SetObjectData(ByVal ObjecrNo As Integer,
 ByVal ObjectData As String, ByRef Result As Long) As Boolean

[パラメータ]

ObjectNo 印字データを設定するラベルフォーマットのオブジェクト番号を指定します。

ObjectData

印字データを指定します。桁数は半角 2000 桁までです。

オブジェクトがビットマップの場合、絶対パスでファイル名を指定します。指定されたファイルが存在しない場合ビットマップは印字されません。

Result

設定に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。

&H800A0517 指定されたフィールドが存在しません。

&H800A0518 ラベルフォーマット情報が取得されていません。

[戻り値]

設定に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。

[解説]

ラベルフォーマットのオブジェクトに対して印字データを設定します。

指定する印字データはオブジェクトの種類により異なるので注意してください。

ラベルフォーマットの桁数を超えるデータを指定した場合は、データがラベルフォーマットの桁数で切られます。指定したオブジェクトに文字列編集を行なっている場合は、編集後の文字列が対象となります。

[例]

3 番目のオブジェクトに対して印字データ “ B-458-TS23 ” を設定します。

```
Dim Ret As Long  
Dim Result As Long
```

```
Ret = BcpCtrl.SetObjectData(6, "B-458-TS23", Result)  
If Result = 0 Then  
    'エラー処理  
End If
```

[備考]

この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。

16. SetObjectDataEx

[機能]	指定されたオブジェクトに対し印字データを設定します。
[書式]	BcpCtrl.SetObjectDataEx(ByVal ObjecrName As String, ByVal ObjectData As String, ByRef Result As Long) As Boolean
[パラメータ]	
ObjectName	印字データを設定するラベルフォーマットのオブジェクト名を指定します。 ラベルフォーマット内に同一のオブジェクト名が複数存在する場合、フィールド番号の若いフィールドに対してデータが設定されるので注意してください。
ObjectData	印字データを指定します。桁数は半角 2000 桁までです。 オブジェクトがビットマップの場合、絶対パスでファイル名を指定します。指定されたファイルが存在しない場合ビットマップは印字されません。
Result	設定に成功した場合は&H0 を、失敗した場合以下のエラー情報を返します。 &H800A0517 指定されたフィールドが存在しません。 &H800A0518 ラベルフォーマット情報が取得されていません。
[戻り値]	設定に成功した場合は 1、失敗した場合は 0 を返します。
[解説]	ラベルフォーマットのオブジェクトに対して印字データを設定します。 指定する印字データはオブジェクトの種類により異なるので注意してください。 ラベルフォーマットの桁数を超えるデータを指定した場合は、データがラベルフォーマットの桁数で切られます。指定したオブジェクトに文字列編集を行なっている場合は、編集後の文字列が対象となります。
[例]	オブジェクト “ 製品名 ” に対して印字データ “ B-458-TS23 ” を設定します。 <pre>Dim Ret As Long Dim Result As Long Ret = BcpCtrl.SetObjectData("品名 テーマ", "B-458-TS23", Result) If Ret = 0 Then 'エラー処理 End If</pre>
[備考]	この関数を呼ぶ前に LoadLfmFile 関数でラベルフォーマット情報を取得する必要があります。

第5章 プリンタ詳細

この章では、使用するプリンタによって異なるプロパティやメソッドの設定値、またプリンタステータスについて説明します。

1. カスタムプロパティ

(1) PortSetting

COM通信パラメータ

プリンタ番号	プリンタ名	ボーレート	parity	データ長	ストップビット
0	B-374	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット 2:2ビット
1	B-474	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット 2:2ビット
2	B-874	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット 2:2ビット
3	B-433-GS	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット
4	B-433-TS	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット
5	B-458-TS	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数	8:8ビット	1:1ビット
6	B-484	2400/4800/9600 /19200/38400	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット 2:2ビット
7	B-858	2400/4800/9600 /19200	N:なし E:偶数 O:奇数	7:7ビット 8:8ビット	1:1ビット

*) 伝達制御方式は XON/OFF + READY/BUSY 方式です。

(2) UsePrinter

プリンタ名	プリンタ番号
B-374	0
B-474	1
B-874	2
B-433-GS	3
B-433-TS	4
B-458-TS	5
B-484	6
B-858	7

2. カスタムイベント

(1) OnStatus

PrinterStatus の詳細は「4. プリンタステータス」を参照してください。

3. カスタムメソッド

(1) ChangeHeadVoltage

プリンタ番号	プリンタ名	転写	発色
0	B-374	-10 ~ +10	-10 ~ +10
1	B-474	-10 ~ +10	-10 ~ +10
2	B-874	-10 ~ +10	-10 ~ +10
3	B-433-GS	(未サポート)	-10 ~ +10
4	B-433-TS	(未サポート)	-10 ~ +10
5	B-458-TS	-10 ~ +10	-10 ~ +10
6	B-484	-10 ~ +10	-10 ~ +10
7	B-858	-10 ~ +10	-10 ~ +10

(2) ChangeIssueMode

センサー種別

プリンタ番号	プリンタ名	センサー種別
0	B-374	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
1	B-474	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
2	B-874	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
3	B-433-GS	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時） 5 : 透過センサー（衣料タグ用）
4	B-433-TS	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時） 5 : 透過センサー（衣料タグ用）
5	B-458-TS	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー 3 : 透過センサー（手動スレッショルド値使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
6	B-484	0 : センサーなし 1 : 反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
7	B-858	0 : センサー無し 1 : 下反射センサー 2 : 透過センサー（通常ラベル使用時） 3 : 透過センサー（プリ印刷ラベル使用時） 4 : 下反射センサー（手動スレッショルド値使用） 5 : 上反射センサー（表面の黒マーク検出） 6 : 下反射センサー（ファンフォールド紙のマージナルパンチ検出）

発行方法

プリンタ番号	プリンタ名	発行方法
0	B-374	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
1	B-474	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
2	B-874	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
3	B-433-GS	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
4	B-433-TS	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
5	B-458-TS	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)*1
6	B-484	2:連続発行 3:剥離発行(剥離センサー有効) 4:剥離発行(剥離センサー無効、アプリケータ対応)
7	B-858	2:連続発行 3:剥離停止位置発行

*1) バージョンにより対応していないプリンタがあります。

発行スピード

プリンタ番号	プリンタ名	発行スピード
0	B-374	3:3インチ/sec 5:5インチ/sec 8:8インチ/sec
1	B-474	3:3インチ/sec 5:5インチ/sec 8:8インチ/sec
2	B-874	3:3インチ/sec 4:4インチ/sec 8:8インチ/sec
3	B-433-GS	3:80mm/sec 5:127mm/sec
4	B-433-TS	3:50.8mm/sec 5:101.6mm/sec
5	B-458-TS	2:50mm/sec 4:100mm/sec
6	B-484	3:3インチ/sec 4:4インチ/sec*1 5:5インチ/sec 8:8インチ/sec
7	B-858	2:2インチ/sec 4:4インチ/sec

*1) リボンモードをリボンありとした場合は“3インチ/sec”として動作します。

リボンモード

プリンタ番号	プリンタ名	リボンモード
0	B-374	0: リボンなし 1: リボンあり（リボンセーブあり） 2: リボンあり（リボンセーブなし）
1	B-474	0: リボンなし 1: リボンあり（リボンセーブあり） 2: リボンあり（リボンセーブなし）
2	B-874	0: リボンなし 1: リボンあり（リボンセーブあり） 2: リボンあり（リボンセーブなし）
3	B-433-GS	0: リボンなし
4	B-433-TS	0: リボンなし
5	B-458-TS	0: リボンなし 1: リボンあり
6	B-484	0: リボンなし 1: リボンあり（リボンセーブあり） 2: リボンあり（リボンセーブなし）
7	B-858	0: リボンなし 1: リボンあり

ローテーション

プリンタ番号	プリンタ名	ローテーション
0	B-374	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字 2: 尻出しみラー印字 3: 頭出しみラー印字
1	B-474	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字 2: 尻出しみラー印字 3: 頭出しみラー印字
2	B-874	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字 2: 尻出しみラー印字 3: 頭出しみラー印字
3	B-433-GS	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字
4	B-433-TS	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字
5	B-458-TS	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字
6	B-484	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字 2: 尻出しみラー印字 3: 頭出しみラー印字
7	B-858	0: 尻出し印字 1: 頭出し印字 2: 尻出しみラー印字 3: 頭出しみラー印字

(3) ChangePosition

プリンタ番号	プリンタ名	フィード量	カット位置	バックフィード
0	B-374	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
1	B-474	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
2	B-874	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
3	B-433-GS	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
4	B-433-TS	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
5	B-458-TS	-100 ~ +100	-100 ~ +100	-99 ~ +99
6	B-484	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99
7	B-858	-500 ~ +500	-500 ~ +500	-99 ~ +99

(0.1mm 単位)

(4) CreateBarcodeData

バーコード種別	チェックデジット種別
A: J A N 8 / E A N 8	1: モジュラス10
B: J A N 1 3 / E A N 1 3	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
C: U P C - E	1: モジュラス10
D: E A N 1 3 + 2 d i g i t s	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
E: E A N 1 3 + 5 d i g i t s	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
I: U P C - E + 2 d i g i t s	1: モジュラス10
J: U P C - E + 5 d i g i t s	1: モジュラス10
K: E A N 8 + 2 d i g i t s	1: モジュラス10
L: E A N 8 + 5 d i g i t s	1: モジュラス10
M: U P C - A	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
N: U P C - A + 2 d i g i t s	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
O: U P C - A + 5 d i g i t s	1: モジュラス10 2: モジュラス10 + プライスC / D 4桁 3: モジュラス10 + プライスC / D 5桁
P: E A N 1 2 8	B: モジュラス10 + P S E U D O 1 0 3
Q: M S I	6: IBMモジュラス10 8: IBMモジュラス10 + IBMモジュラス10 9: IBMモジュラス11 + IBMモジュラス10
R: I n t e r l e a v e d 2 o f 5	1: モジュラス10 D: D B Pモジュラス10
S: C O D E 3 9 (スタンダード)	4: モジュラス43
T: C O D E 3 9 (フルアスキイ)	4: モジュラス43
U: N W - 7	1: モジュラス10
V: I n d u s t r i a l 2 o f 5	C: モジュラスチェック

(5) Feed

PrinterStatus の詳細は「4. プリンタステータス」を参照してください。

(6) GetStatus

PrinterStatus の詳細は「4. プリンタステータス」を参照してください。

(7) HeadCheck

Wait

プリンタ番号	プリンタ名	Wait *1
0	B-374	約 6 秒
1	B-474	約 10 秒
2	B-874	約 10 秒
3	B-433-GS	約 5 秒
4	B-433-TS	約 10 秒
5	B-458-TS	約 3 秒 *2
6	B-484	約 1 秒
7	B-858	約 1 秒

*1) 1 ~ 100 の範囲で設定してください。また上記の時間は目安です。

*2) B-458-TS13 はヘッド断線チェックをサポートしていません。

PrinterStatus の詳細は「4. プリンタステータス」を参照してください。

(8) Issue

IssueCnt / CutInterval

プリンタ番号	プリンタ名	IssueCnt	CutInterval *1
0	B-374	1 ~ 9999	0 ~ 100
1	B-474	1 ~ 9999	0 ~ 100
2	B-874	1 ~ 9999	0 ~ 100
3	B-433-GS	1 ~ 9999	0 ~ 100
4	B-433-TS	1 ~ 9999	0 ~ 100
5	B-458-TS	1 ~ 9999	0 ~ 100
6	B-484	1 ~ 9999	0 ~ 100
7	B-858	1 ~ 9999	0 ~ 100

*1) CutInterval が 0 の場合はカットを行いません。

PrinterStatus の詳細は「4. プリンタステータス」を参照してください。

(9) Reset

Wait

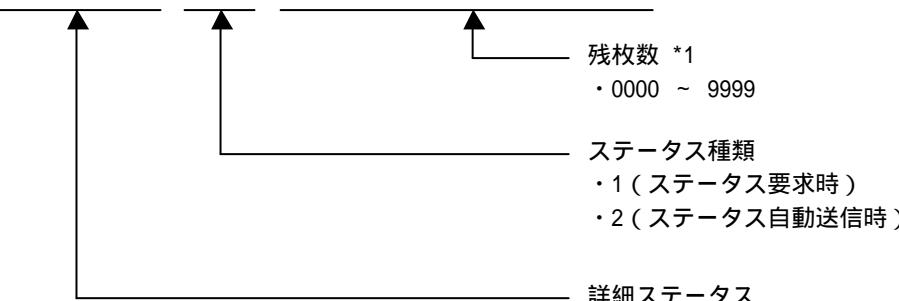
プリンタ番号	プリンタ名	Wait *1
0	B-374	約 3 秒
1	B-474	約 3 秒
2	B-874	約 3 秒
3	B-433-GS	約 3 秒
4	B-433-TS	約 3 秒
5	B-458-TS	約 3 秒
6	B-484	約 3 秒
7	B-858	約 3 秒

*1) 1 ~ 100 の範囲で設定してください。また上記の時間は目安です。

4. プリンタステータス

プリンタから返されるステータス文字列の詳細

ステータス			残枚数			
X	X	X	X	X	X	X



*1) 現在発行しているラベルについてまだ印字が完了していない枚数を返します。

プリンタの状態	詳細ステータス	
	ステータス 自動送信	ステータス 要求
ヘッドオープン状態時ヘッド部を閉じた	00	00
オンラインモード状態時ヘッド部を開けた	01	01
動作中（コマンド解析中、描画中、印字中、フィード中）	-	02
ポーズ状態	-	04
剥離待ち状態	-	05
コマンド解析中にコマンドエラーが発見された	06	06
RS-232C で通信中にパリティエラー、オーバーランエラ - 、フレーミングエラーのいずれかが発生した	07	07
紙送り中に紙づまりが発生した	11	11
カッター部で異常があった	12	12
ラベルが終了した	13	13
リボンが終了した	14	14
ヘッド部を開けたままフィード、発行しようとした（FEED キーは除く）	15	15
サーマルヘッドに断線エラーが発生した	17	17
サーマルヘッドの温度が高温になりすぎた	18	18
リボンモータ用のトルク決定のためのセンサーに異常があった	21	21
リワインダー部にてオーバーフローエラーが発生した	22	22
スタッカ - の電源が入っていないときに発行しようとした	30	30
ラベル発行が正常終了した	31	31
フィードが正常終了した	40	-
フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	41	-
フラッシュメモリのフォーマットで消去エラーが発生した (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	50	50
フラッシュメモリの空容量が足りなくて登録できない (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	51	51
外字、PC コマンド登録モード状態 (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	-	54
		55

プリンタの状態	詳細ステータス	
	ステータス 自動送信	ステータス 要求
ヘッドオープン状態時ヘッド部を閉じた	00	00
オンラインモード状態時ヘッド部を開けた	01	01
動作中（コマンド解析中、描画中、印字中、フィード中）	-	02
ポーズ状態	-	04
剥離待ち状態	-	05
コマンド解析中にコマンドエラーが発見された	06	06
RS-232C で通信中にパリティエラー、オーバーランエラ - 、フレーミングエラーのいずれかが発生した	07	07
紙送り中に紙づまりが発生した	11	11
カッター部で異常があった	12	12
ラベルが終了した	13	13
ヘッド部を開けたままフィード、発行しようとした（紙送りキーは除く）	15	15
サーマルヘッドに断線エラーが発生した	17	17
サーマルヘッドの温度が高温になりすぎた	18	18
フロントカバーを開けたままフィード、発行しようとした	22	22
ラベル発行が正常終了した	40	-
フィードが正常終了した	41	-
フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	50	50
フラッシュメモリのフォーマットで消去エラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	51	51
フラッシュメモリの空容量が足りなくて登録できない (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	54	54
外字、PCコマンド登録モード状態 (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	-	55

プリンタの状態	詳細ステータス	
	ステータス 自動送信	ステータス 要求
アイドル状態	-	00
ヘッドオープン状態時ヘッド部を閉じた	00	-
オンラインモード状態時ヘッド部を開けた	01	01
動作中（コマンド解析中、描画中、印字中、フィード中）	-	02
ポーズ状態	-	04
剥離待ち状態	-	05
コマンド解析中にコマンドエラーが発見された	06	06
RS-232C で通信中にパリティエラー、オーバーランエラ - 、フレーミングエラーのいずれかが発生した	07	07
紙送り中に紙づまりが発生した	11	11
カッター部で異常があった	12	12
ラベルが終了した	13	13
ヘッド部を開けたままフィード、発行しようとした（紙送りキーは除く）	15	15
サーマルヘッドに断線エラーが発生した *1	17	17
サーマルヘッドの温度が高温になりすぎた	18	18
リボンエラー（リボンエンド、リボン切れなど）	21	21
外気温検出用サーミスタコネクタ抜け	22	22
ラベル発行が正常終了した	40	-
フィードが正常終了した	41	-
フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	50	50
フラッシュメモリのフォーマットで消去エラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	51	51
フラッシュメモリの空容量が足りなくて登録できない (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	54	54
外字、PCコマンド登録モード状態 (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	-	55

*1) B-458-TS13 ではヘッド断線チェックをサポートしていないためステータスは返されません。

プリンタの状態	詳細ステータス	
	ステータス 自動送信	ステータス 要求
ヘッドオープン状態時ヘッド部を閉じた	00	00
オンラインモード状態時ヘッド部を開けた	01	01
動作中（コマンド解析中、描画中、印字中、フィード中）	-	02
ポーズ状態	-	04
剥離待ち状態	-	05
コマンド解析中にコマンドエラーが発見された	06	06
RS-232C で通信中にパリティエラー、オーバーランエラ -、フレーミングエラーのいずれかが発生した	07	07
紙送り中に紙づまりが発生した	11	11
カッター部で異常があった	12	12
ラベルが終了した	13	13
リボンが終了した	14	14
ヘッド部を開けたままフィード、発行しようとした（FEED キーは除く）	15	15
サーマルヘッドに断線エラーが発生した	17	17
サーマルヘッドの温度が高温になりすぎた	18	18
リボンモータ用のトルク決定のためのセンサーに異常があった	21	21
リワインダ部にてオーバーフローエラーが発生した	22	22
ラベル発行が正常終了した	40	-
フィードが正常終了した	41	-
フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	50	50
フラッシュメモリのフォーマットで消去エラーが発生した (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	51	51
フラッシュメモリの空容量が足りなくて登録できない (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	54	54
外字、PC コマンド登録モード状態 (外字、PC コマンド登録モード時のみ)	-	55

プリンタの状態	詳細ステータス	
	ステータス 自動送信	ステータス 要求
ヘッドオープン状態時ヘッド部を閉じた	00	00
オンラインモード状態時ヘッド部を開けた	01	01
動作中（コマンド解析中、描画中、印字中、フィード中）	-	02
ポーズ状態	-	04
コマンド解析中にコマンドエラーが発見された	06	06
RS-232C で通信中にパリティエラー、オーバーランエラ -、フレーミングエラーのいずれかが発生した	07	07
紙送り中に紙づまりが発生した	11	11
カッター部で異常があった	12	12
ラベルが終了した	13	13
リボンが終了した	14	14
ヘッド部を開けたままフィード、発行しようとした（FEED キーは除く）	15	15
サーマルヘッドに断線エラーが発生した	17	17
サーマルヘッドの温度が高温になりすぎた	18	18
リボンモータ用のトルク決定のためのセンサーに異常があった	21	21
ラベル発行が正常終了した	40	-
フィードが正常終了した	41	-
フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	50	50
フラッシュメモリのフォーマットで消去エラーが発生した (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	51	51
フラッシュメモリの空容量が足りなくて登録できない (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	54	54
外字、PCコマンド登録モード状態 (外字、PCコマンド登録モード時のみ)	-	55

B C P 発行ツール

リファレンスマニュアル

平成13年 4月16日 初版発行

T A A - 1 3 4 3

発 行

東芝テック株式会社
流通情報システムカンパニー

〒103-8482

東京都中央区日本橋浜町3-21-1

Copyright

無断複写及び、転載を禁ず

All Rights Reserved

Printed in Japan

TOSHIBA TEC CORPORATION, 2001